

診療科目

先端分子・細胞治療科

専門医研修指導医

- 責任者：谷 憲三郎 教授
- 実務者：鶴田敏久 講師
丸本朋稔 講師
土方康基 助教
井上博之 助教
山田一成 臨床助教



取得可能な認定医・専門医

内科認定医、総合内科専門医、がん治療認定医、産業認定医、血液内科専門医、その他 希望される資格を配慮します。

専門医研修システム

【進路に関する情報】近年、癌をはじめとする難治性疾患に対する様々な分子標的薬が開発され、一部ではあるもの同患者の予後は飛躍的に改善している。これは言うまでもなく、基礎研究の成果が臨床に還元された結果である。しかしながら、依然として新規治療薬の開発を必要とする悪性腫瘍をはじめとする疾患は多い。

九州大学先端分子細胞治療科は、九州大学生体防御医学研究所 ゲノム病態学分野で得られた基礎研究の成果に基づき、併設されている分子細胞調整室で製造された治療薬を用いて臨床試験を行い、新規治療法を社会に提供することを目標とする特色ある診療科であります。現在、東京大学医科学研究所において日本初の遺伝子治療(腎癌に対するGM-CSF遺伝子治療)が行われた際の中心メンバーであった谷 憲三郎教授のご指導のもと、主に標準治療が無効となったさまざまな癌患者に新規免疫細胞療法や分子標的治療を行っています。

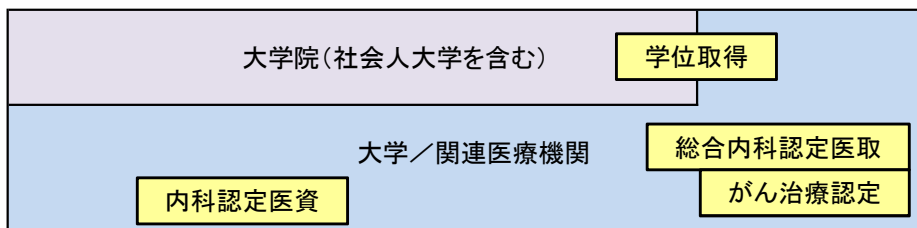
医局は全国より集まった専門医で構成されており、こじんまりとしておりますので、“人を大事にする”という考えを基本に、各医局員の希望に合うよう、きめ細やかな対応がされています。臨床試験に一年間参加いただいた先生には、大学院生として学位を取得する際の授業料の一部を補助する制度があります。子育て支援もいたします。

1. 取得可能な認定医・専門医

内科認定医、総合内科専門医、がん治療認定医、産業認定医、血液内科専門医、臨床腫瘍学会認定医、その他希望される資格を配慮します。

2. 専門医・博士号取得研修システム（下記は代表的なものでこの限りではない。）

- ・臨床コース：総合内科一般研修と免疫細胞療法ならびに分子細胞療法に関する研修。分子標的薬を含む化学療法や緩和医療も行う。一定期間、臨床国内留学も可能（東京大学医科学研究所病院等）。
- ・大学院コース：九州大学生体防御医学研究所において再生医療あるいは悪性腫瘍に対する遺伝子・細胞療法に関する基礎研究を行い学位を取得。
- ・臨床大学院コース；九州大学先端分子細胞治療科において再生医療あるいは遺伝子・細胞療法に関する臨床研究・試験を行い、学位を取得。
- ・海外留学（Salk Institute、MD Anderson Cancer Centerなど）可能。



※ 関連病院 栄光病院、公立おがた総合病院、福岡徳洲会病院、など

連絡先

電話： 092-642-5996 F A X： 092-642-5997
E-mail： hyasuki@sentan.med.kyushu-u.ac.jp
担当者： 土方 康基
診療科HP： <http://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/labo/mcg/>